第１号議案

令和６年度事業報告

令和６年度は、事務拠点の確保を最重点として取り組むとともに、各事業の充実化を目標に取り組んでまいりました。

その成果を報告します。

１．　事務拠点の確保

最重点施策として取り組みました。その結果、㈱有秋プラーザと賃貸交渉を行い５月に間仕切り・内装工事を実施、６月１日付で賃貸契約を締結しました。

整備内容と費用は以下の通りです。

① 間仕切り・内装工事（エアコン・流し台含む）１３２万円（税込み）

② 家賃等

保証金：110,000 円（契約時支払い済）家賃：60,500 円（税込み月額）、共用費：3,000 円（月額）、水道料：年間見込み 5,000 円（６月以降）、電気料：年間見込み約 5,000 円

③ 備品等　事務拠点を開設にあたり次の備品等を購入しました。蛍光管交換：19,800 円、会議机：5,000 円、書棚（2 段式）1 個：55,000 円、マガジンラック（チラシ等配布用）：7,090 円、液晶プリンタ（従来のものが故障のため購入）；125,500 円、折りたたみ会議テーブル 1 個は東小 NW で購入、他事務机は寄贈していただきました。

※Wifi 環境の整備：市原市助成金を有効に活用するため、市社協の斡旋を得て 12 月に無線アクセスポイントを整備しました。月額：5,500 円

現在、プリンタ、パソコンで利用しています。

④ 関連する収支については、会計報告で報告します。

⑤ 事務拠点の活用

現在、常任理事会、NW 懇話会、会計作業・広報誌作成等の事務作

業、関係者との打ち合わせ及び構成団体の会議等で利用しています。

また、有秋地区内３小学校児童の作品を展示し地域の皆さんに見ていただいています。

⑥事務拠点の愛称を「有秋ソイプラザ」（通称：ソイプラ）としました。（令和７年２月常任理事会）

社会福祉の英語表記：social welfare（ソーシャル　ウェルフェア）を語源とし、頭文字２つを取ると　SO-WE（ソーウィ）

プラーザ：スペイン語で「広場」を生かして

有秋ソーウィプラザ⇒**有秋ソイプラザ（通称：ソイプラ）**としました。

また、ソイ(SOY)は大豆を表す。

大豆（社会福祉に関心のある多くの人）が集まり、ソイソース（醤油）や味噌のような、無くてはならない調味料（社会福祉のスパイス（事業））を作る広場（場所）を意味する。

２．　社会福祉法人との連携

今年度は障がい者施設との連携を目標に、「第２クローバー学園」様にお願いしたところ、快諾をいただき理事として運営に参画していただくこととなり、臨時総会でご承認をいただきました。

活動的には、地域福祉支援事業に参加していただき利用者の引率、景品の準備をお願いしました。次年度もいろいろな場面での参加をお願いする予定です。

３．　担い手作り事業（福祉教育）

今年度も、小中学校との連携に取り組みました。

具体的には

① ３小学校児童の作品を有秋プラーザに展示し、地域住民との交流を図る。（負担軽減のため、姉崎産業祭出品作品を学年毎に２か月毎に展示）

②スマイルサロンでボッチャ交流

西小学校４年生48名が高齢者等と世代間交流をしました。

③地域福祉支援事業（スマイルサロンとコラボ開催）で

有秋中２年生有志 40 名が、エイサー踊りで、高齢者、障がい者と交流しました。

④福祉の授業を実施

有秋東小学校５年生 39 名に福祉の授業を行いました。

「福祉って何だろう」という題名で、「福祉とは」、「有秋地区社協の福祉活動」、「みんなに出来る福祉活動」について話し、高齢者にクリスマスカードを作っていただきました。

４．　担い手つくり事業（後継者育成）

福祉教育としては前述の通りですが、地区社協及び構成団体は後継者不足に悩んでいるのは周知の事実と思います。

昨年、「ちょこっとボランティア ナビ（ちょこボラナビ）」を作成し、募ってはいますが、大きな効果は見えていません。

現在、企業へのアプローチ（ライフプラン研修等で紹介していただく）を検討中です。

５．　移動スーパーを誘致

NPO 法人「地域支援ネットワーク」が運営していた「まごころ便」が４月末で撤退したことから、後継事業者を探していた所、マックスバリュ関東様が参入していただけることになり、７月 23 日から運行開始しました。

椎の木台自治会、桜台自治会２か所、こぼり自治会、山谷町会、いちはら緑園都市町会３か所の合計８か所で週２回実施しています。

また、令和７年４月から片又木町会でも実施の運びとなりました。

６．　相談支援事業

① 新たな相談支援体制の確立

「誰ひとり取り残さず、住民の異変を早期に把握し生活課題の深刻化を防止する体制」を目標に、新たな相談支援体制部会で検討を開始しましたが、より充実した検討を図るため、高齢者地域支え合い事業協議体（第２層協議体）で検討することとしました。現在、検討中です。

② ふれあいカフェ

毎月第２、第４月曜日（祝日を除く）開催してきました。

相談件数は少ないものの、相談の基本となる顔を知る、地域のニーズを知るということでは成果をあげたものと思います。

また、スマイルサロン時にも開催し多くの方が寄っていただいたのは大きな成果です。（相談件数 15 件、ふれあいカフェ参加者 102 名、スマイルサロン時開催 305 名）

③相談事業研修会を開催

ふれあいカフェの相談員、地区社協常任理事を対象に開催しました。
講師に国分寺台地区社協　船山会長にお越しいただき国分寺台地区社協の取り組みを学びました。来期の取り組みに多大な参考となりました。

7．　共生型サロンの充実

① スマイルサロン

今年度は参加者アンケートを元に、部会員で検討し実施内容を決めて実施しました。また、昨年度末に発行した「ちょこっとボランティア」により 1 名がスタッフとして参加していただきました。更に準備を一緒にやってくれる方も少しづつ増えています。
毎回、60 名程度（年間 583 名 12 月除く）の参加となっています。

② ファミリーサロン

コロナ禍後、参加者が増えない状況にありましたが、徐々に増えつつあります。（12 月 36 名、年間 167 名）多くの皆さんが参加できるよう広報を進めてまいります。

8．　日常生活支援事業

日常生活支援事業「くらしのささえあい」は、年間実施件数 190 件（昨年度 209 件）となっており、多くの高齢者に喜ばれているところです。今年度は、市社協から軽トラを貸与され作業の効率化も図れました。
本事業は、支えるだけでなく利用会員の悩みを聞く、異変に気づく等、支援に向けても重要な位置づけになっています。

9．　子どもの居場所作りの推進「あそびの広場」

今年度から、偶数月を「ちびっこひろば」とコラボ開催とし、スタッフ不足の解消と遊具の充実に努めました。
しかしながら、参加者数は月ごとに大きな変動（最高 60 名、最低 25 名）があります。定着化に向けて検討が必要になっています。

なお、12 月から東小学校区福祉ネットワークのご協力でポップコーンの配布を始めています。（年間 386 名）
中高生のボランティアについては、問い合わせが数件あるものの参加に至っておりません。

１０．福祉バザー（歳末助け合い運動）
10 月 27 日に予定していましたが、衆議院議員総選挙と重なり急遽 11 月 10 日に変更しました。日程変更に際しては、公民館、町会をはじめとする各団体にご迷惑をかけながら絶大なるご協力をいただきました。感謝申し上げます。おかげさまで売り上げも昨年度から微増となり、地域福祉支援事業の資金としても確保することができたと安堵しています。
また、今回からフロアシートを敷くのを取りやめ、土足禁止としました。
その結果、準備・撤収作業が楽になったと大好評でした。

１１．有秋フェスティバルに参加
有秋フェスティバルに参加し、地区社協活動ビデオを放映、パンフレット・チラシの配布、ポップコーンの無料配布を行い PR を実施しました。
多くの人が来場してくれましたが、ポップコーンにばかり流れて地区社協の PR という面では、物足りない結果となりました。
地区社協の「のぼり旗」を作って PR することとしました。

１２．広報活動
広報誌「あおぞら」を２回発行しました。
紙面の内容も構成団体の紹介等充実した内容になったと自負しています。
SNS による広報も、毎月の行事等案内、開催模様を掲載しイベントへの参加を促しました。しかしながら市が実施したアンケート結果によると認知数が少ない状況です。来年度は、拠点を利用した広報活動の充実を検討してまいります。

１３．災害支援ボランティア事業

今年度は、福祉避難所開設・運営について姉崎地区社協、千種地区社協と西部エリア３地区合同で実施しました。

また、２月 11 日に市社協主催研修にも参加しました。

※災害時のボランティア活動備品として、ハンドウィンチ（チルホール）を購入しました。

１４．賛助会員募集の取り組み

理事の皆様には、賛助会員募集の取り組みにご協力いただき誠にありがとうございます。

その結果、以下の通りとなりました。

賛助会員数：131 名（団体）

口数：263 口（2,3000 円）

以上、令和６年度の事業報告をさせていただきました。

詳細な開催期日等は別紙に記載しておりますので、参照願います。

令和６年度事業報告

年　月　日	会議・事業名等	場　所・時　間	協議事項・実施内容
令和６年 ４月１日 (月)	会計監査 常任理事会	有秋公民館研修室 9:30～	会計監査 令和６年度総会資料（案）の確認
４月２４日 (水)	定期総会	有秋公民館体育室 18:00～	有秋地区社協 定期総会 令和５年度事業報告・収支決算報告 令和６年度事業計画(案)・予算(案)の承認 拠点づくり関連　他
５月８日 (水)	常任理事会	有秋公民館研修室 13:30～	月例会議
６月２５日 (水)	健康増進講座	椎の木台自治会	認知症サポーター養成講座 講師：地域包括支援センターたいよう
６月	親睦研修旅行	中止	
６月４日 (火)	常任理事会	地区社協拠点	拠点整備、月例会議
６月１９日 (水)	常任理事会	地区社協拠点 10:00～	月例会議
７月１７日 (水)	常任理事会	地区社協拠点 10:00～	月例会議
７月２５日 (木)	第１回理事会	有秋公民館体育室 18:00～	事業経過報告　等
	研修会	有秋公民館体育室 19:00～	「有秋地区における高齢化の現状と今後の課題」 講師：地域包括支援センターたいよう　中島光孝氏
７月２６日 (金)	地域広報紙 「あおぞら」 第４０号発行	地区社協拠点 13:00～	5,000 部発行
８月２１日 (水)	常任理事会	地区社協拠点 14:00～	月例会議
９月１８日 （水）	常任理事会	地区社協拠点 10:00～	月例会議
１０月３日 (木)	健康増進講座	有秋公民館体育室 10:00～	スマイルサロンと合同開催 フレイル予防講座「歩行と健康の関係について」 講師： 市原地域リハビリテーション広域支援センター 白金整形外科病院　作業療法士　袴田龍一氏
１０月９日 (水)	常任理事会	地区社協拠点 10:00～	月例会議

１０月１７日 (木)	第２回理事会 （臨時総会）	有秋公民館体育室 18:00～	新理事選任について 令和６年度補正予算について 福祉バザーについて 事業経過報告　等
１１月９日 (土)	福祉バザー準備	有秋公民館体育室 13:00～	福祉バザー会場設営
１１月１０日 (日)	福祉バザー	有秋公民館体育室 集合：　9:00～ 開催：10:00～	バザー当日 全売上合計：297,460 円 ※国政選挙のため１０月２７日より変更
１１月１３日 (水)	福祉バザー 反省会	有秋公民館研修室 17:00～	
	福祉バザー 懇親会	三井化学社員クラブ 18:30～	
１１月２０日 (水)	常任理事会	地区社協拠点 10:00～	月例会議
１２月１８日 (水)	常任理事会	地区社協拠点 10:00～	月例会議
令和７年 １月１５日 (水)	常任理事会	地区社協拠点 13:30～	月例会議
１月２３日 (木)	第３回理事会	有秋公民館体育室 18:00～	総会準備 事業経過報告　等
１月２４日 (金)	地域広報紙 「あおぞら」 第４１号発行	地区社協拠点 13:00～	5,000 部発行
２月５日 (水)	相談事業研修会	アネッサ研修室 13:30～	国分寺台地区社協における相談支援事業の推進について 講師：会長　船山 慶子氏
２月１９日 (水)	常任理事会	地区社協拠点 10:00～	月例会議
３月１９日 (水)	常任理事会	有秋ソイプラザ 10:00～	月例会議
３月２７日 (木)	第４回理事会	有秋公民館体育室 18:00～	総会準備 有秋地区行動計画推進委員会からの報告

その他の事業			
事業名　等		場所　等	日時、実施内容　等
地域福祉支援事業 （歳末たすけあい運動 「クリスマス会」）		有秋公民館体育室	○１２月１２日交流型事業を実施（参加者６３名） ・有秋中学校生徒によるエイサー踊り ・社会福祉法人クローバー会　障がい者支援施設 第２クローバー学園の参加
共生型サロン事業	スマイルサロン	有秋公民館体育室	○毎月第１木曜日　累計参加者 583 名 （８月は休み） ※5月、11 月、12 月、１月は第２木曜日に実施
	ファミリーサロン		○毎月第３木曜日（８月は休み）累計参加者 167 名
ちびっこひろば 子どもの居場所づくり事業	あそびの広場	有秋公民館体育室 研修室 会議室	○毎月第４日曜日 （８月、１０月は休み） （偶数月　ちびっこ広場合同開催） 累計参加者 349 名+3 月実施分
広報事業		有秋公民館 有秋ソイプラザ	広報紙「あおぞら」発行（年２回） 【ＳＮＳ運用】 FaceBook ページ https://www.facebook.com/yusyusyakyo/ X（旧 Twitter）ページ https://twitter.com/yuusyuu_syakyou LINE 公式アカウント
連携づくり事業	有秋地区 NW 懇話会	有秋公民館研修室	奇数月第２土曜日 13:30～
相談支援事業	ふれあいカフェ	オアシス有秋	○毎月第２，第４月曜日　10:00～12:00 （年末年始・祝日・休館日は中止） 年間参加者累計　　名、相談件数　　件
先駆的・開拓的事業	日常生活支援事業 （住民参加型在宅福祉サービス）	利用者宅　等	○住民相互による生活支援 ○実施団体：くらしのささあい
	日常生活支援事業 （事業化・活性化推進サービス）	各スーパー等、 泉台コミュニティーホール	○買い物ツアー：椎の木台自治会、いちはら緑園都市町会エリアで実施 ○スマートフォン使い方教室（８月から休止）
	人材育成事業	有秋ソイプラザ 有秋東小学校	○辰巳台地区社協歳末助け合い運動の取り組み ○福祉教育授業５年生 39 名
	災害支援ボランティア事業	住友化学社員倶楽部 ふぉれすと	○１月２０日（月）17:00～ 福祉避難所開設・運営について
高齢者地域支え合い事業協議体	○地域包括ケアシステムの構築に向けた高齢者地域支え合い事業協議体を推進する。 ○日時：原則奇数月第３金曜日 18：00～※有秋地区行動計画推進委員会と同時に進行		
有秋地区行動計画推進委員会	○「第２次有秋地区行動計画」の進捗管理を行う。 ○日時：原則奇数月第３金曜日 18：00～ ※有秋地区高齢者地域支え合い事業協議体と同時に進行		